

東京都市大学 柏門技術士会

第 1 8 期通常総会

2 0 2 1 年度

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

議 案 書



2 0 2 1 年 6 月 1 2 日 (土)

東京都市大学 柏門技術士会

東京都世田谷区玉堤 1-28-1

東京都市大学 都市工学科事務室

TEL:03-5707-0104 (内 3200)

<http://www.tokyotosi-hakumon.org/>

次 第

I 第 18 期通常総会

定数確認 議決権保有会員 90名
書面審議参加56名
(6月9日時点)

1. 会長 挨拶 (同時送付の書面審議ご案内をご覧ください。)

2. 議事

各議案の要旨説明 (同時送付の書面審議ご案内をご覧ください)

佐藤会長

第1号議案 第17期 活動報告

第2号議案 第17期 決算報告

1) 第17期 収支決算報告

2) 第17期 監査報告

第3号議案 理事の選出

第4号議案 第18期 活動計画

第5号議案 第18期 予算案

3. 報告事項

1 2021年度顧問委嘱

2 体制表

3 東京都市大学台風19号被災に対する義援金について

4 会員の動向

閉会挨拶

安部副会長

第1号議案 理事会活動報告および各委員会活動報告

1. 理事会（運営委員会）開催日時

第10回理事会（175回）	2020年	4月11日～17日（土）	①
第11回理事会（176回）	2020年	5月9日（土）	②
第12回理事会（177回）	2020年	6月13日（土）	③
第13回理事会（178回）	2020年	7月11日（土）	③
第14回理事会（179回）	2020年	9月12日（土）	③
第15回理事会（180回）	2020年	10月10日（土）	④
第16回理事会（181回）	2020年	11月14日（土）	②
第17回理事会（182回）	2020年	12月12日（土）	②
第18回理事会（183回）	2021年	1月9日（土）	②
第19回理事会（184回）	2021年	2月13日（土）	②
第20回理事会（185回）	2021年	3月13日（土）	②

2. 場 所

- ①メールによる書類審議
- ②Web会議
- ③ハイブリッド会議（横浜花咲ビル10階（竹中土木横浜支店）＋Web会議）
- ④東京都市大学 4号館2階 建築都市学群多用室

3. 全体議事

3. 1 第18期定期総会に関して

- 1) 総会における議案説明次第の決定
- 2) 今年度活動報告および次年度計画に関する各委員会からの資料の検討
- 3) 第18期総会次第の審議

3. 2 総会議案書作成について

- 1) 総務委員会より、第18期総会の全体プログラム、議案書の表紙および次第、顧問名簿の変更点について説明
- 2) 顧問名簿については、大上先生に確認をいただき修正
- 3) 議案書の活動報告は主要な議事をまとめた内容にした。

3. 3 新入会員へ委員会活動参加の勧め

- 1) 委員会活動参加の勧め案内を作成し3年以内に入会した方にすすめる。
- 2) コロナ禍のためメール、会報誌による参加依頼。

3. 4 各委員会の委員増強について

若い会員の方に委員会に参加していただくよう、メール、会報誌による参加依頼。

3. 5 東京都市大学台風19号被災に対する義援金について

令和元年10月12日 首都圏を縦断した台風19号により都市大世田谷キャンパスが被災した。復旧と今後のリスク回避を目的に柏門技術士会会員の皆様に母校への義援金のご協力を令和元年度にお願いした。義援金は29名の会員より総額192,000円の義援金を頂き、柏門技術士会より100,000円を拠出し、義援金総額292,000円とし、令和2年5月に大学当局に振込を行った。

3. 6 その他全体情報

- 1) 校友会に、「在校生への支援」として技術士第一次試験合格者へ受験料を助成することを確認。令和元年度合格者発表が令和2年度に延期(台風15号上陸により試験日延期)になったため、令和2年度助成金支払いは2年度分となった。
- 2) コロナ禍のため令和2年度の合格祝賀会を次年度に延期することとした。
- 3) コロナ禍のため行事関連のWEB開催の検討中。

4. 委員会活動報告

4. 1 総務委員会

- 1) 総会に向けての準備・工程案作成
- 2) メール等による書類審議の通常総会の運営と整理
- 3) 顧問の継続委嘱についてのお知らせおよび新任顧問への委嘱依頼、顧問への委嘱状発行
- 4) 新規入会者の委員会への参加呼びかけ
- 5) 会報誌発送ラベルの作成と印刷
- 6) 会員名簿の管理・更新

4. 2 広報委員会

- 1) HPの改善点を検討
 - ・ 柏門HPの継続運営
 - ・ 新規情報を継続的に掲載
- 2) 都市大ロゴマークの使用許可を取得
 - ・ 都市大ロゴマークをホームページと名刺に使用する手続き
- 3) メーリングリスト配信により会員へ総会案内、新情報を提供
- 4) 会報誌の編集及び出版を実施

4. 3 教育委員会

- 1) 技術者倫理の講義担当
 - ・ 都市工学科の必修科目として実施し、5月で終了した。
 - ・ 都市工学科倫理講義の採点および取り纏めを、松浦委員を中心に実施
- 2) 次年度の都市工学科技術者倫理授業の準備を進めた。
- 3) 講義はアクティブラーニングとしており、講義の後半はグループごとにテーマに沿った議論をしてもらっている。また、新型コロナウイルス感染防止に伴いWeb授業の検討を行った。

4. 4 企画渉外委員会

- 1) CPD見学会、コロナ禍にて中止
- 2) 2020年横浜祭、世田谷祭、コロナ禍にて中止
- 3) 技術士第一次試験合格お祝い会コロナ禍にて中止

4) 講演会、見学会等のWEB開催の検討

4. 5 試験支援委員会

1) 技術士試験大学別合格者数の調査

- ・ 第一次試験の在学学生合格者情報を大技連経由で試験センターから入手
- ・ 都市大は、令和2年度、在学学生 52 名全国大学(高専含む)3 位(私大 2 位)、卒業生 37 名全国大学 33 位(私大 13 位)。
- ・ 全国 3 位の結果については、大学ホームページ(トピックス)に掲載

2) 横浜キャンパスで特別講義(技術士補コース)を実施(全 14 回)

3) 都市工学科キャリア開発講義にて技術士制度及び柏門技術士会、第一次試験の説明をオンラインにて実施(2020年7月)

4. 6 事務局

1) 年会費納入者数の推移、運営委員会開催スケジュール他

2) 柏門技術士会会計管理

- ・ 柏門技術士会の月次会計管理
- ・ 年次予算計画及び年次収支報告の作成

3) 都市大メールアドレスを取得

- ・ 各委員会の主要委員の都市大メールアドレス管理

4) 都市大サーバーの利用申請

- ・ 都市大サーバーの柏門会員メーリングリスト利用
- ・ 都市大サーバーのストレージ利用

5) 都市大サーバーの利用申請

6) 都市大ロゴ入り柏門技術士会名刺の調整

以上

第2号議案 第17期 収支報告

東京都市大学 柏門技術士会 第17期 収支決算報告書

2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第17期 予算	実績	実績-予算	備考
会費収入	450,000	404,000	△ 46,000	90人×フェロ-会員設定(1～5千円)による減 (予定:100人×4,500円)
行事会費	105,000	0	△ 105,000	17期総会はコロナ禍にあつてメール審議に伴い、懇親会は中止減
協賛広告費	100,000	110,000	10,000	会社)2社×50千円(㈱TERADA様、㈱トップライズ様) 個人)2名×5万円(小林様、佐藤様)増
雑収入	770,000	528,009	△ 241,991	校友会:第一次試験助成金は、70名予定に対し、R1年度12名(台風に伴う試験延期分)、2年度36名計48名×11,000=528,000円減
台風19号義援金	3,000	3,000	0	東京都市大学への寄付(今年度入金分個人分1名)
当期収入合計	1,428,000	1,045,009	△ 382,991	
前期繰越金	1,740,282	1,740,282	0	
収入総合計	3,168,282	① 2,785,291	△ 382,991	

2. 支出の部

科目	第17期 予算	実績	実績-予算	備考(増減理由等)
事務用品費	33,000	5,720	△ 27,280	事務用品、受験参考書等の購入減
印刷・通信費	115,000	44,808	△ 70,192	総会往復葉書(16期分経費処理遅れ分)増、コロナ禍に伴う総会メール審議開催による印刷外注減
行事会費	170,000	66,330	△ 103,670	コロナ禍に伴う総会・世田谷・横浜祭の中止による減
会報誌、広報	251,000	202,180	△ 48,820	会報誌印刷費の削(印刷会社変更)減
委員会費	66,000	33,792	△ 32,208	理事会会場:コロナ禍に伴い、無料施設を利用から、WEB会議に変更(ZOOM年間22,110円)増
渉外費他	854,000	587,138	△ 266,862	技術士第一次試験助成金(55名予定⇒R1年試験日延期分12名+R2年36名×11,000円/名)減 *ただし合格者は52名
台風19号義援金	292,000	292,000	0	東京都市大学への寄付(個人分189,000昨期繰越+3,000今期収入+本会100,000⇒292,000)
当期支出合計	1,781,000	② 1,231,968	△ 549,032	
次期繰越金	1,387,282	③ 1,553,323	166,041	
支出総合計	3,168,282	2,785,291	△ 382,991	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 2,785,291	② 1,231,968	③ 1,553,323	2021(令和3)年3月31日現在残高
-------------	-------------	-------------	-------------	---------------------

監査の結果、上記決算内容は適正であると認めます。

令和 3(2021)年 月 日

監事

中澤 真



監事

服部 尚道



第17期 当期支出内訳

科目	第17期予算		第17期支出		備考
	内訳項目	内訳品名	予算内訳	支出実績	
事務用品費		33,000		5,720	△ 27,280
①会報誌・総会	封筒	5,000	5,500	△ 2,500	前期同様
②事務局	封筒、事務用品他	5,000	220	△ 4,780	封筒購入
③技術士試験支援	受験参考書	20,000	0	△ 20,000	非購入
印刷・通信費		115,000		44,808	△ 70,192
①第17期総会	資料印刷費(70部)	30,000	0	△ 30,000	メール送信への変更
②第17期総会(+16期分)	案内往復葉書(200枚:16期分含む)	45,000	12,748	△ 32,252	往復葉書は16+17期購入
③柏門案内	パンフレット(500部)作成費	0	0	0	非作成
④会報誌17号	送付費用	30,000	29,800	△ 200	前期同様、宅配便(次期値上げ)
⑤世田谷祭	資材運搬費	2,000	0	△ 2,000	非開催
⑥横浜祭	資材運搬費	2,000	0	△ 2,000	非開催
⑦事務局	新規入会者等郵送代	5,000	2,260	△ 2,740	日本技術士会ほか
⑧技術士試験支援	資料等印刷費	1,000	0	△ 1,000	非開催
行展会費		170,000		66,330	△ 103,670
①第17期総会	懇親会費用	105,000	0	△ 105,000	非開催
②世田谷祭	講演会費	50,000	66,330	16,330	和田先生・原田氏特別寄稿謝金
③横浜祭	会場設営・設備費	5,000	0	△ 5,000	非開催(メール審議)
④世田谷祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	0	△ 5,000	非開催
⑤横浜祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	0	△ 5,000	非開催
⑥世田谷祭	世田谷祭実行委員会対応	3,000	0	0	0
⑦横浜祭	横浜祭実行委員会対応	3,000	0	0	0
会報誌、広報		251,000		202,180	△ 48,820
①会報誌17号	テープ起こし費用	67,500	0	△ 67,500	総会非開催
②HP維持費	HP用サーバーの賃借料	43,500	26,730	△ 16,770	本学サーバ利用不可に伴う継続利用
③都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000	0	△ 10,000	非対応
委員会費		66,000		33,792	△ 32,208
①交通費補助	技術士関連広報活動	45,000	0	△ 45,000	コロナ禍でZOOM利用へ変更
②委員会会議	会場費	3,000	33,792	30,792	ZOOM年間使用料+スピーカー購入
③寄付講座	講師交通費	18,000	0	△ 18,000	非対応
渉外費他		854,000		587,138	△ 266,862
①他大学技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費	0	0	0	非開催
②新東名見学会後援	講師(6名)への手土産	8,000	0	△ 8,000	非開催
③見学会(7月)	見学先への手土産	3,000	0	△ 3,000	非開催
④見学会(11月)	見学先への手土産	3,000	0	△ 3,000	非開催
⑤大学顧問との交流会	意見交換会費	27,000	0	△ 27,000	非開催
⑥事務局	協賛先等へのお礼	43,000	25,038	△ 17,962	手土産代
⑦技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(11,000円/人)	770,000	535,260	△ 234,740	延期R1+R2年度:合計48名
⑧技術士第一次試験合格祝賀会	祝賀会費用(合格者超過分)	0	0	0	非開催
⑨名刺	理事名刺12名分@100枚	0	26,840	26,840	理事12名@100枚
台風19号義援金		292,000		292,000	0
①台風19号義援金	東京都市大学への寄付(個人分)	192,000	192,000	0	189000昨期繰越+3000今期収入
②	東京都市大学への寄付(本会分)	100,000	100,000	0	
当期支出合計		1,781,000		1,231,968	△ 549,032
			1,011,000	696,708	←助成金予算・支出を除く

第3号議案 新任理事・監事の選出

1) 新任理事の選出

理事	会長	佐藤 貢一 (総合、建設) S60土木		
	事務局長	安藤 慎一郎 (建設) S57土木		
	総務委員会 委員長	浅野 研一 (建設) S52土木	★新任 総務委員会 副委員長	稲沢 達也 (総合、建設) S53土木
	広報委員会 委員長	石川 善信 (建設) S56/58修土木	広報委員会 副委員長	山浦 武彦 (建設) S62土木
	教育委員会 委員長	松浦 弦三郎 (建設) S51土木/H30修都市	教育委員会 副委員長	林 克彦 (建設) S54土木
	企画渉外委員会 委員長	下條 信幸 (電気電子) S56電気	企画渉外委員会 副委員長	北村 敏 (電気電子) H01電気電子
	試験支援委員会 委員長	安部 毅 (総合、建設、環 境) H02土木	試験支援委員会 副委員長	小林 洋一 (電気電子) S48電気

(計12名)

2) 新任監事の選出

監事	中澤 眞 (情報) S47電気	服部 尚道 (建設) H04土木/H06修土木		
----	--------------------	----------------------------	--	--

(計2名)

第4号議案 第18期 活動計画

総務委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	会員の動向の把握および会員名簿の管理、顧問委嘱手続き、会則、細則の制定・改訂等の原案作成、総会の開催に関する一切の事項、他委員会の活動支援	
委員	委員長：浅野 研一 副委員長：稲沢 達也 委員：小原 丈二、鈴木 修、安藤 慎一郎、三浦 聡、荒川 興一	
第18期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	・総務委員会文章事項に関する協議及び情報交換	数回／年
2. 会則・細則の改定	・会則・細則に関する修正・提案事項の検討および改定案の作成	必要により検討実施
3. 第18期総会の開催	・議案書の作成 ・会員への連絡 ・議決の確認	2021年6月
4. 顧問の委嘱手続き	・大学教員の異動に伴う、顧問の見直しおよび委嘱依頼	2021年5月
5. 会員名簿管理	・新規会員の入会、転居・転職等の会員情報の変更、退会・逝去等の情報の登録 ・会員数の把握	随時
6. 交流会の実施	・コロナウィルスの状況により、実施の有無、実施時期を再検討する。	未定
7. 他の委員会への活動支援	・大学講義の実施や技術士ガイダンス ・一次試験合格祝賀会 ・大学祭ブース出展 等へ支援	随時
第19期以降の活動方針（中期的な活動方針）		
<ul style="list-style-type: none"> ・柏門技術士会が活動し易いように、随時会則及び細則の見直しを行っていく。 ・転勤や定年などにより連絡先が不明とならにように、メルマガや総会の案内などを通じて、随時会員の動向を把握する。 ・各委員会に若手の委員が参加できるよう、行事等を通じて声掛けをしていく。 ・長期的に技術士会員数を増やすために、大学事務局や顧問の先生方との交流会を実施して、大学全体の技術士制度に対する理解を深めていく。 ・技術士制度ガイダンスの実施や学祭のブースでの説明、大学講義での技術士制度の説明の充実などを、関係する委員会等と協力して実施していく。 		

広報委員会 活動計画

委員会の分掌事項	会報誌の作成・発行、ホームページの運営管理、会員への広報活動
委員	委員長：石川 善信 副委員長：山浦 武彦 委員：近藤 晴雄、松本 辰男、嶋矢 剛、服部 尚道、中林秀和、山川 和弘

第 18 期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 会報誌の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌第 18 号の作成の企画・編集・印刷・発行等 ・会報誌 18 号の作成は 6 月の総会記事を掲載し、9 月に初旬に発送 	2021 年 6 月～
2. ホームページの運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの運用 ・運営委員会議事録の掲載 ・CPD 見学会報告などのニュースを掲載 ・大学の発展の経過をアーカイブスとして掲載 	通年
3. 会員への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンを活用し CPD 見学会などの情報を会員へ発信する。 ・ホームページ会員コーナーに、過去の会報誌、理事会議事録を掲載 	通年
4. 都市大学生への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・都市工学科 3 年生を対象としたキャリア研修にて「技術士制度」の紹介 ・環境情報学部特別講義にて「技術士制度」の紹介 ・世田谷キャンパス、横浜キャンパスにおける技術士ガイダンスの開催を都市大に広報する。 	通年
5. 20 周年記念会報誌の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・20 周年誌発行に向けて、諸準備を始める。 	通年

第 19 期以降の活動予定（中期的な活動方針）

- ・大学でのガイダンス等イベントをメールマガジンにて紹介して、メールマガジンの拡充を進める。

教育委員会 活動計画

委員会の分掌事項	特別講義（ケーススタディ）、その他の教育と指導に関する企画と運営
委員	委員長：松浦 弦三郎 副委員長：林 克彦 委員：松本 芳幸、油井 理、街道 浩、山本 晃弘（小原 丈二、明官 均）

第 18 期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	大学より依頼の講義の向上のため、実施後の反省、次回テーマの選定、日程調整などを行う。講義実施時は講師以外の者も出来る限り参加し討議補助をするよう調整する。	会議は年 2 回程度、その他メール等により随時調整
2. 特別講義（ケーススタディ）	今期も都市工学科より依頼の「技術者倫理」（3 年・必修）を緑土会（学科 OB 会）との「共同寄付講座」として、全講義時間の半分（今期は 110 分授業 6 回）行う。今期はコロナウイルスの影響によりメディア授業（オンデマンド型）での実施となる。初めての試みであり討議等がスムーズに実施できるように講師以外の者も出来る限り参加し補助をするよう調整する。	2021 年 4~5 月
3. 技術士・技術士補の受験支援	14 期より技術士試験支援実行委員会が本学在学生等に対して本格的な受験支援の活動を始めたことから、状況に応じて補佐的支援を行う。	随時、必要の際調整する
4. その他	現在の具体的な活動は大学からの依頼に基づいていることもあり、都市工学科中心となっているが、他学部学科に対しても、需要に応じて、今後積極的に対応していく。	随時、必要の際調整する

第 19 期以降の活動予定（中期的な活動方針）

大学における人材育成は、社会の要請に基づいた教育をより重視していく方向にある。そのような教育環境を踏まえ、大学での講義は大学から依頼があることが必須であるため、「東京都市大学アクションプラン 2030」（「時代の要請に取り組み」という記述あり）に沿った具体的な講義プランに従って、どのような支援・協力が出来るのかを大学側と十分なコミュニケーションを取りながら活動していく。

また、現在実施している講義等については、大学側の希望・時代の要請などを取り込みながら質的向上を計り、継続するべく努める。なお、学生教育については大学に加え、学科卒業生の会（所謂 OB 会）等が活動をされている場合もあり、関係者との十分な調整の基に活動する。特に、今後は Web 授業が益々推進されていくことになると思われるので新たな発想のもとで協力して行く。

企画渉外委員会 活動計画

委員会の分掌事項	見学会、講演会、その他行事等の企画・運営並びに日本技術士会との交流と情報交換
委員	委員長：下條信幸 副委員長：北村 敏 委員：田部井哲夫、尾崎正明、森久保武史、藤本健、永井佑樹

第 18 期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	会員へのサービスを反映した CPD 行事、交流会の企画検討を行う。 世田谷祭、横浜祭の展示準備及び見学会の企画検討を行う。	適宜
2. 世田谷祭・横浜祭での 本会 PR ブースの開設	横浜祭はWEB開催となったのでWEBでの参加を行う。 学生・教職員・大学事務局への“技術士制度&技術士“の啓発活動、柏門技術士会活動のPR、技術士第一次試験奨励活動を具体的にすすめる。	2021年 横浜祭 6月 世田谷祭 11月
3. 見学会、講演会の開催	CPD活動の一環及び会員への交流として見学会・講演会のWEBでの開催を検討する。	2021年
4. 技術士第一次試験合格者 お祝いの会	一次試験合格者の在校生との交流を深めるとともに、将来の第二次試験に向けての情報を提供する。	2022年2月頃
5.		

第 19 期以降の活動方針（中期的な活動方針）

会員相互の交流のために、多くの会員が参加できる CPD 見学会、講演会等を企画していく。
学生に技術士受験の推進のための広報活動を積極的に行う。
17期はコロナ禍で通常での開催はほとんど実行できなかったためWEBでの開催を検討していく。
技術士第一次試験合格者との交流が大切であることから、今後合格者が増加したことを検討する。

試験支援委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	技術士制度のガイダンス及び特別講義の実施、その他の技術士資格取得に関する企画と運営	
委員	委員長：安部 毅 副委員長：小林 洋一 委員：近藤 晴雄、小林 政徳、進藤 敏則、永田 嘉和、永尾浩一、仲田貞夫	
第 18 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 横浜キャンパス 特別講義 (技術士補コース)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・メディア情報学部共通、2年生を対象に前期第2Q全14回の講義を実施する。 ・オンライン形式の可能性が高いため、講師間連携のもと準備を進める。 	2021年 5月～7月
2. 受験ガイダンスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法を検討し全キャンパスを対象に実施する(全学年、全学部)。 ・TOEIC対策の外部講師を招き、合同で実施する。 	2021年6月
3. 模擬試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学校事務局と連携し、オンラインによる実施を行い、在校生の受験者増を図る。 ・採点と激励コメントにより、モチベーション向上を図り、合格率向上を目指す。 	2021年8月
4. その他、試験奨励活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・都市工学科における3年生のキャリア開発の講義で、技術士試験の説明を実施する。 ・その他、大学等の要請に応じ、技術士制度の説明を実施する。 	2021年5月
5. 学内広報活動 (広報委員会と連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・受験支援制度、受験ガイダンス、模擬試験等について、学生ポータル等で広報する。 ・学生の合格者数について、柏門HPでPRするとともに大学の広報とも連携を図る。 	適宜
第 19 期以降の活動予定 (中期的な活動方針)		
<p>*JABBE 認定されている学生(現在、都市工学科及び機械工学科)を含め、在学中の第一次試験の受験、及び資格取得拡大に向けた検討を行う。(目標：在学生100名合格)</p> <p>*受験ガイダンス、模擬試験の実施、その他の取組を行い、受験者増と合格率向上を図る。横浜、世田谷で定着した取組について、等々力キャンパスを含めた全校全学部への拡大を図る。</p> <p>*技術士試験の出題傾向や問題の分析を行い、特別講義やガイダンス等に反映させるとともに、必要に応じ大技連での情報交換、日本技術士会への情報提供を行い、質の向上、制度の充実を図る。</p> <p>*第一次試験の対策にとどまらず、第一次試験を通過した会員等への第二次試験取得のための支援活動について検討を行う。</p>		

※ 「活動の目的・実施内容等」「第19期以降の活動予定」欄は箇条書きでなく、文章で記載ください。また、欄内に収まる文字数でお願いします。

第5号議案 第18期 収支予算

東京都市大学 柏門技術士会 第18期 収支予算案

(令和3(2021)年4月1日～令和4(2022)年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第17期実績	第18期予算	増減(18期-17期)	備考
会費収入	404,000	425,000	21,000	年会費:95人×(1~5千円) ※17期:90名
行展会費	0	0	0	総会非開催(コロナ禍対応)
協賛広告費	110,000	110,000	0	2社×50千円+2人×5,000
雑収入	528,009	660,000	131,991	校友会第一次試験助成金660千円(今期分60名合格 想定)IPEJとの協定に基づく交通雑費収入(実費)
台風19号義援金	3,000	0	△ 3,000	前期までで終了
当期収入合計	1,045,009	1,195,000	149,991	
繰越金	1,740,282	1,413,123	△ 327,159	
収入総合計	2,785,291	① 2,608,123	△ 177,168	

2. 支出の部

科目	第17期実績	第18期予算	増減(18期-17期)	備考(増減理由)
事務用品費	5,720	33,000	27,280	前期予算同様
印刷・通信費	44,808	100,000	55,192	前期予算から15,000円減⇒往復はがき代45,000円減、 会報誌送付料30,000円増
行展会費	66,330	75,000	8,670	前期予算から95,000円減⇒懇親会非開催105,000円減、 WEB開催に伴う備品等経費計上10,000円増
会報誌、広報	202,180	301,000	98,820	前期予算から50,000円増⇒前期実績印刷代封筒込で50 千円増
委員会費	33,792	79,000	45,208	前期予算から13,000円増⇒世田谷・横浜祭WEB開催 5,000円減、WEB会議継続(ZOOM利用料)18,000円増
渉外費他	587,138	747,200	160,062	前期予算から106,800円減⇒交流会27,000円減、試験助成 金(66名+送金2万円)90,000円減、名刺6名10,200円増
台風19号義援金	292,000	0	△ 292,000	終了:前期にて無し減
当期支出合計	1,231,968	② 1,335,200	103,232	
繰越金	1,553,323	③ 1,272,923	△ 280,400	
支出総合計	2,785,291	2,608,123	△ 177,168	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 2,608,123	② 1,335,200	③ 1,272,923	令和4(2022)年3月31日時点残高予想
-------------	-------------	-------------	-------------	-----------------------

第18期 当期支出予算内訳

科目	第18期 予算		備考
	内訳項目	内訳品名	
			*(但し以下に記載の数字は前期予算との差異)
事務用品費		33,000	前期予算同様
①会報誌・総会		封筒	5,000 前期予算同様
"		発送用あて先ラベル、インク等	3,000 "
②事務局		封筒、事務用品他	5,000 "
③技術士試験支援		受験参考書	20,000 前期予算同様、試験内容の変更に伴う新書購入等を踏まえて予算確保
印刷・通信費		100,000	前期予算から15,000減
①第18期総会		資料印刷費(70部)	30,000 前期予算同様、外注費用を確保
②第18期総会		案内往復葉書(200枚)	0 前期利用無にて、今期流用⇒45,000円減
③柏門案内		パンフレット(500部)作成費	0 前期同様、作成しない。
④会報誌18号		送付費用	60,000 宅配便値上げ見込み(82⇒164円/冊)⇒30,000円増
⑤世田谷祭		資材運搬費	2,000 前期予算同様
⑥横浜祭		資材運搬費	2,000 "
⑦事務局		新規入会者等郵送代	5,000 "
⑧技術士試験支援		資料等印刷費	1,000 "
行展会費		75,000	前期予算から95,000減
①第18期総会		懇親会費用	0 非開催:コロナ禍を踏まえた対応⇒105,000円減
"		講演会費	50,000 前期予算同様、講演者謝金
"		会場設営・設備費	15,000 前期予算同様 WEB開催を考慮⇒10,000円増
②世田谷祭		ポスター準備・会場設営他	2,000 前期予算同様
"		世田谷祭実行委員会対応	3,000 "
③横浜祭		ポスター準備・会場設営他	2,000 "
"		横浜祭実行委員会対応	3,000 "
会報誌、広報		301,000	前期予算から50,000増
①会報誌18号		テープ起こし費用	67,500 前期予算同様
"		会報誌印刷代(モノクロ550部)	180,000 前期実績同様(送付用封筒込み)⇒50,000円増
②HP維持費		HP用サーバーの賃借料	43,500 前期予算同様、本学サーバー利用による減は未確定
③都市大新聞		広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000 前期予算同様、新聞会活動再開で広告費を計上
委員会費		79,000	前期予算から13,000増
①交通費補助		技術士関連広報活動	40,000 前期予算から5,000円減⇒世田谷祭・横浜祭WEB出展を想定
②委員会会議		会場費	21,000 前期実績同様、コロナ禍でのWEB会議の継続(ZOOM年間費用)、前期予算に対して18,000円増
③寄付講座		講師交通費	18,000 前期予算同様⇒コロナ禍にあってもハイブリッド授業の実施、IPEJからの補助額減を踏まえて増額
渉外費他		747,200	前期予算から106,800減
①他大学技術士会等		総会・懇親会・シンポ参加費	0 前期同様、未定のため0とする
②学生見学会後援		講師(6名)への手土産	8,000 前期予算同様、対応について検討
③見学会(7月)		見学先への手土産	3,000 "
④見学会(11月)		見学先への手土産	3,000 "
⑤大学顧問との交流会		意見交換会費	0 前期同様、コロナ禍にあつて非開催の見込み⇒27,000円減
⑥事務局		協賛先等へのお礼	43,000 前期予算同様
⑦技術士第一次試験助成金		申請者への助成金支給(11,000円/人)	680,000 前期実績52名合格を踏まえ、60名申請者を見込む(振込手数料は柏門より2万円)⇒90,000円減
⑧技術士第一次試験合格祝賀会		祝賀会費用(合格者超過分)	0 前期同様、企画渉外委員会独自会計とする。会計では予算計上しない。コロナ禍にあつて中止見込み
⑨理事名刺		理事用名刺6名分@100枚	10,200 前期実績を踏まえ、理事半数分(6名分)を見込む(6×1,700円)⇒10,200円増
当期支出合計		1,335,200	655,200 ←助成金を含まない予算金額

報告事項 1 2021年度顧問委嘱

NO	名称	現 職	氏 名	NO	名称	現 職	氏 名
1	最高顧問	学長	三木 千壽	23	顧 問	理工学部 自然科学科 主任教授	(新任) 橋本 義武
2	最高顧問	学校法人 五島育英会 理事長	高橋 遠	24	顧 問	建築都市デザイン学部 建築学科 主任教授	(新任) 堀場 弘
3	顧 問	NPO法人建設技術監査センター 理事 相談役	五艘 章	25	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科 主任教授	(新任) 白旗 弘実
4	顧 問	副学長 (統括, 教育担当)	大上 浩	26	顧 問	情報工学部 情報科学科 主任教授	(新任) 向井 信彦
5	顧 問	副学長 (連携担当)	関 良明	27	顧 問	情報工学部 知能情報工学科 主任教授	森 博彦
6	顧 問	副学長 (研究担当)	野中 謙一郎	28	顧 問	名誉教授	増田 陳紀
7	顧 問	大学院総合理工学研究科長	田口 亮	29	顧 問	国際センター長	本間 宏二
8	顧 問	大学院環境情報学研究科長	伊坪 徳宏	30	顧 問	総合理工学研究科教務委員長	(新任) 柴田 随道
9	顧 問	理工学部長	岩尾 徹	31	顧 問	理工学部教務委員長	高津 淑人
10	顧 問	建築都市デザイン学部長	末政 直晃	32	顧 問	情報工学部教務委員長	中野 秀洋
11	顧 問	情報工学部長	横山 孝典	33	顧 問	建築都市デザイン学部教務委員長	三上 貴仁
12	顧 問	環境学部長	(新任) 史 中超	34	顧 問	環境学部 環境創生学科 主任教授	(新任) 飯島 健太郎
13	顧 問	メディア情報学部長	(新任) 岩野 公司	35	顧 問	環境学部 環境経営システム学科教授	(新任) 古川 柳蔵
14	顧 問	都市生活学部長	(新任) 坂井 文	36	顧 問	理工学部 機械工学科教授	白木 尚人
15	顧 問	人間科学部長	(新任) 早坂 信哉	37	顧 問	理工学部 原子力安全工学科准教授	松浦 治明
16	顧 問	共通教育部長	(新任) 山口 勝己	38	顧 問	環境学部 環境創生学科教授	室田 昌子
17	顧 問	理工学部 機械工学科 主任教授	横 徹雄	39	顧 問	理工学部 電気電子通信工学科教授	岡野 好伸
18	顧 問	理工学部 機械システム工学科 主任教授	宮坂 明宏	40	顧 問	理工学部 応用化学科教授	宗像 文男
19	顧 問	理工学部 電気電子通信工学科 主任教授	(再任) 野平 博司	41	顧 問	建築都市デザイン学部 建築学科教授	近藤 靖史
20	顧 問	理工学部 医用工学科 主任教授	和多田 雅哉	42	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科准教授	五艘 隆志
21	顧 問	理工学部 応用化学科 主任教授	高橋 政志	43	顧 問	東京都市大学 情報工学部 情報科学科講師	星 義克
22	顧 問	理工学部 原子力安全工学科 主任教授	(新任) 鈴木 徹	44	顧 問	理工学部 自然科学科教授	吉田 真史

報告事項2 体制表

1. 全体

役職名	
最高顧問	第18期総会 報告事項1 2021年度顧問委嘱参照
顧問	第18期総会 報告事項1 2021年度顧問委嘱参照
会長	佐藤 貢一
副会長	安部 毅
事務局長	安藤 慎一郎
理事	第18期総会 第3号議案 理事参照
監事	第18期総会 第3号議案 幹事参照

2. 体制表

2021年度 体制表

委員会名	委員長	副委員長	委 員			
総 務	浅野 研一	稲沢 達也	小原 丈二	鈴木 修	安藤 慎一郎	三浦 聡
			荒川 興一			
広 報	石川 善信	山浦 武彦	近藤 晴雄	松本 辰男	嶋矢 剛	服部 尚道
			中林 秀和	山川 和弘		
教 育	松浦 弦三郎	林 克彦	松本 芳幸	油井 理	街道 浩	山本 晃弘
企画渉外	下條 信幸	北村 敏	田部井 哲夫	尾崎 正明	森久保 武史	藤本 健
			永井 佑樹			
試験支援	安部 毅	小林 洋一	近藤 晴雄	小林 政徳	進藤 敏則	永田 嘉和
			永尾 浩一	仲田 貞夫		

報告事項3 東京都市大学台風19号被災に対する義援金について

2019年10月12日 首都圏を縦断した台風19号は、この間の記録的降雨で各地に甚大な洪水被害をもたらした。東京都市大学世田谷キャンパスのある世田谷区玉堤地区においても付近を流れる多摩川の二本の支川である谷沢川と丸子川を中心とする水が、増水した多摩川に合流できなくなってあふれ出した結果、この地区の中でも低位にあるキャンパスの公道付近へ集まり、大量の水がキャンパス内に流れ込んだ。これにより、母校の世田谷キャンパスでは、複数の建物で1階の床上まで浸水するとともに、図書館の地下階書庫、教室棟の地下階教室、事務局フロア、研究棟の施設設備などで浸水被害を受けた。

世田谷キャンパスの授業は休講を余儀なくされたが、大学職員が総出で復旧にあたり、2週間で授業再開ができる状況になった。

しかしながら、今回の浸水で世田谷キャンパスは、予想以上に大変な損害を被ることとなり、このような状況から、柏門技術士会として、世田谷キャンパスの復旧と今後のリスク回避に少しでもお役に立てればと思い、会員の皆様に母校への義援金のご協力をお願いした。

義援金を募集したところ、29名の**会員より総額192,000円**の義援金を頂いた。会員の義援金に加え**会より100,000円**を拠出し、**総額292,000円**とし、2020年5月に大学当局に振込ませて頂いた。

報告事項4 会員の動向

新入会員

会員名	備考
大月寛之 (R3 機械)	修習技術者
田淵 大智 (R4 見込み化学修習)	修習技術者
常盤 敏 (H1 土木)	
久米村秀明 (R4 見込み環境情報)	

退会

会員名	備考
菱沼 隆 (S48 電機)	